

## 春の組織拡大決起集会開く 東京地評

### 三多摩2つ目の地域分会 清瀬東久留米分会結成



右2.15 東京地評 春の組織拡大決起集会



左2.17 三多摩協議会 清瀬東久留米分会結成

#### 18春闘・要求闘争と結び、対象広げ組織拡大を

東京地評は15日、ラパスホールで、春の組織拡大に向け決起集会を開きました。今年は、労働法制の改悪反対、雇用の安定、すべての労働者の賃金底上げをめざす社会的賃金闘争の推進、改憲阻止などを掲げ18春闘が闘われています。要求実現にむけ労働者との対話を通じ、労働者に労働組合の役割を知らせ、組合員を拡大する絶好の機会と呼びかけました。

#### 組合員全員が組織拡大に参加しよう

基調報告で、組合員拡大の活動に参加する組合員を増やし、まだ組合員に入っていない労働者に広く案内を成功させることがカギとのべ、各組合で方針を決め、組合の役割を議論し、一人でも多くの組合員が行動に一步踏み出そうと訴えました。

目標は組織現勢（2017年6月）の5%以上の増を提起、5月までを拡大期間としています。

#### CU東京は4、5月に拡大月間を取り組みます

CU東京は、2月20日現在、組織現勢1,166人。2017年度も後半に入り、いよいよ第10回の節目の大会

を迎えます。「働き方改革」が焦点になっています。非正規で働く労働者が過半数に迫る状況、労働環境の悪化が続いています。個人加盟労組・CU東京の役割は決定的。1,250人以上の到達をめざします。

#### CU清瀬・東久留米分会結成総会

2月17日、清瀬平和と労働会館にて、地域の分会結成総会が17人の参加で開催されました。清瀬地区労から「CU東京」に対する期待の挨拶があり、労働相談で加入された組合員からは「地域の労働者」に役立つ組合が身近にあると安心ですなどの発言のあと提案された「結成総会関連の議案」を全員の拍手で承認しました。選出された役員は、分会長・寺川知子 副分会長・殿岡、石垣、大江、書記長・小野塚、書記次長・垣見、顧問・坂内、城田などです。



## 青木・関川争議支援報告集会

2月1日 亀戸文化センターで開く



江東区労連・地域労組こうとう・CU東京は2月1日、江東区亀戸文化センター6F第3研修室にて、仮装派遣切りと闘う青木さん、パワハラ・残業代未払いで闘う関川さんの争議報告集会に31人の参加で開催しました。

開会にあたって小倉CU東京委員長があいさつ、続いて2つの争議状況報告が弁護士報告に移りました。

**HP争議弁護団の西田弁護士**は「青木さんの派遣裁判は今までの裁判とは違い、青木さんはHPと直接雇用（期間の定めのない労働契約）をしていた。しかし、HPから「仕事内容や待遇は変わらないから、マンパワー（派遣会社）に行ってくれと指示され、勝手に派遣にされた。私たち弁護団は裁判の中、今でも青木さんとHPとの間で直接雇用の黙示の労働契約がある」と報告。

**第一興商弁護団の久保本弁護士**は「今、裁判は本当に最終盤に来ている。会社は和解協議の中で、2階級降格は取消、元いた法人化課長に戻すと言っていました。関川さんに残業代を払ってしまうと他の課長にも残業代を支払う事になるので関川さんは特命課長にすると回答を一変させ反省した態度を見せません。遅くとも今年中には何らかの決着がつくと思いますので引き続きご支援をお願いします」と訴えました。

弁護士からの報告の後、3名の方から連帯あいさつをいただき、当該の決意表明に移りました。



訴える青木さん

**青木正憲さん**は、「裁判の状況は先ほど西田先生から報告があった通りです。私は最初から一点突破でお願いしますと言っていたんですが、強力な弁護団によって色々な角度から攻め入っている状況になっています。これからも頑張っ



訴える関川さん

て行きますのでご支援よろしくをお願いします」と訴えました。

**関川貴幸さん**は「日頃からお本当にご支援いただきありがとうございます。先ほど久保木先生から説明がありましたが、僕一人が良くなれば良いわけではなく自分の働いている会社を何とか変えたいその思いでやっています。引き続きご支援よろしくお願いします」。二人の決意表明を行った後、地域労組こうとう執行委員長の新野さんのあいさつで閉会しました。

## 2018年国民春闘総決起集会

1月30日 杉並公会堂に900人

国民春闘共闘・東京春闘共闘は1月30日、東京・杉並公会堂大ホールで2018年国民春闘総決起集会を開催しました。**安心して生き、働くことができる社会に** 900人を超える参加者で、大幅賃金の引き上げと底上げ、労働者・国民が安心して生き、働くことができる社会の実現に向けて、職場・地域から全力で闘い抜く決意を固めました。

### 『安倍働き方改革』阻止しよう

主催者の荻原淳代表は、3000万人署名を大きく広げ安倍9条改憲をストップさせよう。『安倍働き方改革』は残業代ゼロ、裁量労働制の適用範囲拡大、過労死ラインを超える上限規制など危険な法案。阻止しよう。大幅賃上げと要求実現のために18国民春闘を全力でたたかい抜こうとのべました。

春闘をたたかう職場地域から、仲間がリレートークを行いました。松森陽一東京春闘共闘事務局長が行動提起を行い、小田川全労連議長の閉会あいさつめ団結ガンバローで閉会しました。



## S U埼玉へ連帯挨拶 新春のつどいで高木書記長



S U埼玉・若月桃子委員長（中央の女性）を囲んで

1月21日、浦和の埼玉教育会館において、埼玉の個人加盟地域労組、全労連・埼玉ユニオン（S U埼玉）が初めて新春のつどいを開催しました。約50人の参加しました。決意や取り組みの交流があり、C U東京から高木書記長が連帯の挨拶をしました。

宮本書記次長、三宅執行委員も参加しました。埼玉労連の議長、副議長も挨拶、ギターによる歌を披露し盛りあがりしました。S U埼玉から、これまでC U東京の拡大決起集会や三多摩協議会行事に参加、経験や活動を学び、交流を深めてきました。

### S U埼玉 秋の拡大で18人の仲間迎え 190人で新年を迎える

S U埼玉は、昨年、新たに草加八潮地域支部を結成し6支部になりました。委員長の若月桃子さんは新しい支部結成を力



に、また、組合員が増加傾向にあることを確信にしています。2018年、S Uをさらに大きく、魅力ある組織にしてい

うと呼びかけました。

### 東京地評旗開き1/5 東京土建旗開き1/15

東京地評旗開きが1月5日、大塚・ホテルベルクラシックで開かれました。安倍9条改憲阻止、安倍暴走政治ストップの歴史的なたたかひの年にふさわしい決起の場になりました。245人が参加しました。

東京土建の旗開きが1月15日、ヒルトン東京で開かれました、松丸委員長は昨年秋の拡大で11万人に到達、新年を11万5千人で迎えたといさつしました。



写真左・土建の松丸委員長と握手する小倉C U委員長  
写真右・挨拶する荻原東京地評議長



## 三多摩協議会 新春のつどいを開催

### 相談解決の組合員も6人参加

2018年、9日の事務局会議からスタートした三多摩協議会。1月20日に結成以来3回目の「新春のつどい」を、北多摩西教育会館に来賓を含めた45人の参加で開催しました。

冒頭、佐藤委員長が「組織が230人となって相談体制も拡充し成果を上げてきた。駆け込み寺としてなくてはならない組合になっている」と挨拶。来賓もC U本部の小倉委員長からの激励、三多摩労連の菅原副議長、東京土建本部より三木常任中執、清水秀子都議会議員、八王子合同法律の白根顧問弁護士、三多摩法律・藤井弁護士、S U埼玉の中山書記長から、激励、連帯の挨拶をいただきました。

乾杯後、前進座女優の江林さんの華やかな踊り、地評労働相談センターの前澤さんや土建の町田・府中・西東京・多摩稲城の各支部代表も挨拶いただきました。



挨拶する佐藤義見委員長

連帯感あふれるつどい

とりわけ、労働相談で解決・交渉中の6人の組合員から、感謝と現状報告がなされ、大きな拍手に包まれました。裁判を闘う仲間への1コインカッパも呼びかけ、2万8百円が集まり感謝です。埼玉から来られた仲間も「いやあ、みんな頑張ってるね。元気をもらった」の感想も寄せられ、楽しくも連帯感あふれるつどいでした。

## 第30回記念「多喜二祭」に1200人

CU東京も案内と会場スタッフで応援

### 戦争の足音が再び聞こえる時代

2月12日、中野ゼロ大ホールで第30回多喜二祭が開かれました。2月20日は作家小林多喜二が29歳の若さで特高警察に虐殺された日です。亡くなった20日前後に全国各地で多喜二を追悼する集会が開かれています。東京では30年前から杉並・中野・渋谷の地域で実行委員会がつけられ毎年開催されてきました。

### 多喜二の変革の小説と生き方学ぶ

多喜二は戦争反対と貧困からの解放、労働者の地位向上めざし、小説「蟹工船」はじめ農民、労働者闘いの作品を書きました。当日の講演は、「蟹工船」を彷彿させる現代社会の様相、戦争法や「共謀罪」など戦争する国づくりの進行など、多喜二の生き方や作品が紹介、報告されました。

同実行委員会の事務局長はCU東京の高木書記長です。メッセージをCU渋谷の海崎書記長が紹介しました。



### ■第48回東京社保協総会

3月25日(日) 10:00 開会  
建設プラザ東京

### ■原発ゼロの未来へ福島とともに 3.4全国集会

3月4日(日) 13:00  
日比谷野外音楽堂)

**9条改憲NO!**  
**憲法を生かす全国統一署名**  
**3000万署名を集めよう**

春闘の季節、組合員の交流の時です。学習会や花見など企画し、組合員の交流をすすめよう

## 江戸川区労連が新春のつどい

CU江戸川からも大勢が参加



### 闘っている争議団、労働者が発言

1月24日、都教組江戸川支部会館、「新春旗開き」が70人を超える参加で開催されました。宮澤議長から「9条改憲、労働法制の改悪を許さないたたかいに全力あげよう」とのあいさつがあり、司会の植草副議長、春闘共闘の遠藤議長、河野日本共産党都議会議員、東京地評の久保常幹など多くの方から挨拶がありました。江戸川では、区労連の多くの役員がCU東京へ加入し、地域の労働運動、労働相談活動を支えています。CU江戸川の「人格や人間性否定の攻撃」と闘っている平山さん夫婦は、ビンゴゲームでランドセルが当たり来年ご子息が入学するので喜んでいただきました。

■批判が多いにも関わらず、安倍内閣は遮二無二に「働き方改革」を強行しようとしています。残業代ゼロ、長時間労働など合法化の狙いです。断固阻止しましょう。■19日の国会ででとんでもないことが明らかに。安倍首相は答弁を撤回、厚労大臣は6回「深くお詫びします」。「働き方改革」に関し厚労省がデータを「ねつ造」、安倍総理が確認せず答弁しました。■春闘の季節、非正規の労働環境、低い賃金を強く感じる時です。今こそ、組合員を増やし、組織を大きくし、声を上げていくことが求められます。4、5月は春の組織拡大月間です。■第30回が多喜二祭が開かれました。組合は申し入れを受け、案内に協力、当日のスタッフとして組合員が活躍、支えました。小林多喜二は貧困や格差、戦争反対に正面から立ちむかい、資本主義の本質に迫りました。戦前が彷彿される昨今、労働組合の役割は大きい。